

岩手南部森林管理署遠野支署

タイトル	地域林業の低コスト化に向けた現地検討会
実施年月日	平成24年8月23日(木)
実施場所	岩手県遠野市土淵町栃内字西恩徳国有林57林班ほか
参加者	局署：東北森林管理局、岩手南部署、三陸中部署、遠野支署 20名 外部：岩手県南広域振興局遠野農林振興センター、遠野市、 遠野地方森林組合、遠野地区国有林材生産協同組合、 支署管内林業事業者 25名 計 45名

**【取り組みの概要】**  
当支署では、路網の作設技術の普及・定着を図るとともに、列状間伐や路網と高性能林業機械を組み合わせた低コストで効率的な作業システムの普及・定着を促進し、地域林業を活性化するため、民有林と連携し国有林のフィールドにおいて現地検討会を開催した。  
当日は、午前中、間伐における効率的な作業システムや森林作業道の作設について、森林管理局及び支署からの説明と意見交換、併せて各機関、事業者の取組について情報交換を行った。また、午後は西恩徳国有林において、生産事業における搬出及びザウルスロボによる作業道の作設状況を見学し、意見交換を行った。

**【取組の成果】**  
国有林の搬出現場を体感することにより、関係機関や支署若手職員の現場作業のイメージづくりや今後の指導等の参考となったものと考えている。  
また、実施事業者についても、検討会の見学対象となったことにより、現場作業員の意識の改善が見られた。

**【出された意見】**  
現地においては、森林作業道の幅員、傾斜及び高性能林業機械等に関する質問や先進事例を参考に現地に合った集材システム等を取り入れる必要性等について、熱心な意見交換が行われた。

**【今後の課題】**  
今後は、森林作業道の作設技術の向上、作業システムの効率化等各テーマ毎に継続して検討会等を実施するとともに、民有林に係る事業者当より多くの参加を促し、その定着、普及に努める必要がある。

タ イ ト ル

地域林業の低コスト化に向けた現地検討会



参加者への説明と情報交換



作業状況の説明と見学



森林作業道作設の実演



現地での意見交換